

作 樂

第207号

平成30年3月10日号

特別養護老人ホーム 作 樂 莊

〒441-8066 豊橋市王ヶ崎町字上原1番地145
TEL (0532) 48-5111・FAX (0532) 48-5112

鬼祭奉賛会による厄除飴まき（中央が一亮理事長） 2月11日 安久美神戸神明社

次	展望
施設だより	来年度の事業展望
* 作楽荘	(福)一誠福社会理事長 滝川一亮
* 成人式二十歳の誓い	「法人創立30周年記念式典」を簡近にして30周年
* 特別養護老人ホーム麗楽荘事務長 中村一行	記念事業実行委員会委員長 滝川一成
* 美光ハイム	平成三十年度から東三河広域連合
* 食事と初詣とお買い物	地域包括支援センターBAND主催ママズ
* 俱楽荘	施設研修レポート
* 書道地域交流会の開催	研修報告
* G.H.吉川わ	研修長資格認定講習課程とは
* 久しぶりの「餅つき会」	(福)誠福社会元副理事長 中村一行
* 麗楽荘	特別養護老人ホーム麗楽荘事務長 今泉百江
* 麗楽荘の初詣	名前登録
* 和光ハイム	開設の最後者「岩瀬肥後守忠慶」67歳
* 新春の福笑い	地図掲示システム
* GHうらら	地域包括支援センターBAND主催ママズ
* 奇楽荘	施設研修レポート
* 鏡開きで無病息災	研修報告
* GHきらら	研修長資格認定講習課程とは
* 地域の絵手紙教室	(福)誠福社会元副理事長 中村一行
施設口説／編集後記	特別養護老人ホーム麗楽荘事務長 今泉百江
22	新制度となつて半年の新人研修5
24	茶々俱楽部新規会員登録

展望

来年度の事業展望

(福)一誠福祉会 理事長 滝川一亮

3月は「去る」などとよく言われますが、本年度も残すところあとわずかとなりました。

この4月からの来年度の事業展望につきまして、以下の①～③3本の経営方針を主軸として、一誠福祉会の運営を推進していく所存であります。

①介護報酬改定への対応

平成30年度には介護報酬が改定されます。

今回は次の4項目について実施されます。

◇地域包括ケアシステムの推進

◇自立支援・重度化防止に資する、質の高い介護

サービスの実現

◇多様な人材の確保と生産性の向上

◇介護サービスの適正化・重点化を通じた、制度の安定性・持続可能性の確保

各改定項目について、当法人の業務内容と照らし合わせながら、細やかに対応していきます。

②キャリアパス制度の運用開始

経営陣側・職員代表側の双方で検討してきた当

法人独自のキャリアパス制度が、約一年かけて漸く完成しつつあります。

そして4月からはいよいよ組んでまいります。

よ、キャリアパス制度を実際に運用します。

向こう一年間で不備な点がないかどうかしっかりと確認しながら、より理想形に近づけていかねばなりません。職員にとつて不公平の無い職場環境作りを目指します。

③本部機構の強化・充実

以前より本部機能の強化・充実を目指してきましたが、いまだ実現に至っておりません。そ

の要因として、多様な人材の確保ができるおらず、

ポスト設置による人件費増加への対応策も十分に

検討されておりません。

これら諸問題の解消と

理想の本部体制構築に向

そして今後とも、名譽会長から継承した「ノーマライゼーション」を当法人の理念とします。利用者の方々に満足して頂くサービス提供するた

め、「3S (smile speed smart)」を常に心がけ、

上記介護報酬改定の内容でもある質の高い介護サ

ービスを実践します。

ところで、この号が発刊されると間もなく、当

法人の創立30周年記念行事の日を迎えます。

この日を一番楽しみにされていました滝川一興名誉

会長の参列が叶わないので、

は残念ではありますが、

お世話になつた皆様と共に祝い合い、喜びを分か

ち合えることを楽しみにしております。

The 30th Anniversary

30周年

「法人創立30周年記念式典」を間近にして

記念事業実行委員会 委員長 滝川一成

毎年のように、鬼祭が終わると豊橋には春が訪れます。庭の木々にも、時々メジロがやつてくるようになりました。

そして、今年の春の便りは、この3月30日に控える「法人創立30周年記念式典」の予告でもあります。開催まで3週間を切り、実行委員会も慌しくなってきました。

実行委員会（もと準備委員会）はこれまで2ヵ月ごとに1回、斯楽莊に午後6時から集合し、記念式典の日に向けて準備を進めてきました。

各拠点の代表職員と法人理事・後援会理事で構成され、20名でスタートした委員の中には7名の女性職員が含まれています。女性職員が含まれていませんが、体調不良や寿退社により惜しまれながら外れた方もおりました。

成され、20名でスタートした委員の中には7名の女性職員が含まれています。女性職員が含まれていませんが、体調不良や寿退社により惜しまれながら外れた方もおりました。

第1回の委員会は平成27年3月12日に開き、各委員の紹介および役割分担・今後の委員会スケジュールについての審議がその内容でした。第2回は5月14日、第3回は8月6日、第4回は11月12日に開きました。

この間、招待者名簿・講演会・アトラクション等につき話し合い、式典のサブテーマについてはも、中村耕三氏にお願いすることに決まりました。因みに当日の演題は、「ロコモティブシンドロームの背景にあるもの」です。
講演会の演者についても、中村耕三氏（東大名誉教授）の他、次の方々が候補に挙がりました。
バイマー・ヤンジン氏（チベット人歌手）／坂本光司氏（法政大学大学院政策創造研究科教授）／小林宏之氏（新潟城出身の元日本航空パイロット）／野口健氏（アルピニスト）／佐野慈紀氏（野球解説者）／三好春樹氏（人間性重視の介護を提唱する理学療法士）／綾戸智恵氏（ジャズシンガー）／和田行男氏（認知症介護歴20年以上の介護福祉士）／神山卓也氏（笑う介護士）

多くの推薦により、中村耕三氏にお願いすることに決まりました。因みに当日の演題は、「ロコモティブシンドロームの背景にあるもの」です。
続く第5回は平成28年2月3日、アトラクションを中心に話し合い、カルテット「ミューズ」と豊丘高校和太鼓部「豊太鼓」の演奏に決定しました。その内容については、現在詰めています。その後5月・8月・11月、そして今年の1月と打ち合わせを重ね、出席者名簿、会場手配についても順調に進んでいます。
記念品と共に配付する創立30周年記念誌の発行を含め、準備万端整えまして当日を迎えるたいと思っています。

初釜

平成三十年 作樂荘 初釜茶会

茶々俱楽部豊橋講師 田中宗敏

平成三十年の新年を迎えて、作樂荘では一月九日に恒例の初釜茶会を執り行いました。

本年は就業時間内に皆さんのが順次参加されるとのことから、これまでの様に一同には会さず、忙しい業務の合間に縫つて参加するその状況に合わせて催しております。



初釜のお稽古



講師お手製の料理

床
「好日」
相国大龍筆

花入
赤楽

昇樂

造

花
水仙
香盒
羽子板
炉
縁
真塗

花
水仙

香盒
羽子板

炉
縁
真塗

水壺
鼠志野
松竹梅蒔絵
寿泉
造

薄茶器
茶碗
蓋
茶杓
萩
茶
御茶
菓子
器
縁高重

茶杓
銘
福の神
萩
松月
茶
若竹
泉園
京や
製

茶杓
銘
福の神
萩
松月
茶
若竹
泉園
京や
製

茶杓
銘
福の神
萩
松月
茶
若竹
泉園
京や
製

茶杓
銘
福の神
萩
松月
茶
若竹
泉園
京や
製

茶杓
銘
福の神
萩
松月
茶
若竹
泉園
京や
製

茶杓
銘
福の神
萩
松月
茶
若竹
泉園
京や
製

茶杓
銘
福の神
萩
松月
茶
若竹
泉園
京や
製

茶杓
銘
福の神
萩
松月
茶
若竹
泉園
京や
製

（参考）

○好日（こうじつ）

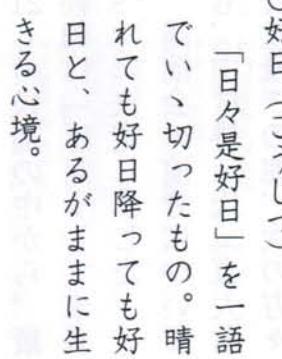
「日々是好日」を一語

正月の宮中儀式に用いられていたものが菓子化したもの。押し鮎に見立てた牛蒡（ごぼう）を通した味噌餡（みそあん）を、求肥（ぎゅうひ）で包む。

皆様の日々の職場におきましても、ここで学んだ礼儀作法や思いやりの大切にしていただきたいと思います。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

例年の如く講師からの心ばかりの料理にて、新春を祝い所作のお稽古をいたしました。



おせち料理の菓子



お掛物は相国大龍筆の「好日」

作 樂

茶々俱楽部

新制度となつて半年の新人研修

麗楽荘茶々俱楽部

委員長 今泉江美

本年度は六名の新人職員が宗徳吉田流に入門し、茶々俱楽部新城講師の指導を受けています。

新制度下の茶々新人研修が始まり、半年が経過しました。先生方のご協力もあって、大きなトラブルもなく研修は進行しています。その熱心なご指導により、皆さんお稽古に励まれています。

お稽古が始まつた昨年九月は、初めて学ぶ茶道とあって、袱紗やお茶碗などお道具を扱う手がぎこちなく、皆さん不安な表情を見せていました。

それが今は、実際にお床でお茶を点ててお稽古をしています。二週間に一度と限られた時間ですが、お稽古する毎に技術はもちろん、人としても大きな成長を感じます。

半年先の許状授与式で立派にお手前をしている皆さんの姿が、目に浮かぶようになつてきました。



一緒に袱紗捌きを学びます

宗徳吉田流 茶々俱楽部新城

特別養護老人ホーム麗楽荘

事務員 安形百絵

今年度から月二回、勤務時間内に施設内で行うことになったと聞きましたが、私たち新人職員の茶々研修は、昨年の九月に始まりました。

今まで茶道の経験がなかったので、短時間で習得できるかと、とても不安を感じていました。

最初の頃は、慣れない正座や歩き方、難しい茶道の所作などにとても戸惑いました。しかし、講師の先生方が一つひとつ丁寧に指導してくださる方や諸先輩のお手前を目標にして、精一杯努力したいと思っています。

これからも講師の先生に不安や焦りなどは消えて、楽しく習うことができます。また、少しずつですが、自信も持てるようになつてきました。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。



心を込めて「一服どうぞ」

名誉会長追悼

開國の立役者——岩瀬肥後守忠震

(福)一誠福祉会元副理事長 中村一行

【略歴】

岩瀬忠震（一以降岩瀬）

三河国設楽郡領主旗本設
樂貞丈（さだとも）の三
男としてその江戸屋敷に
生まれ、天保11年（18
40）、同じ三河国の旗
本岩瀬忠正の養嗣子とな
ると、天保14年（184
3）、幕府の昌平黽に学び、
嘉永4年（1851）には昌平黽の教授をも務め
た。嘉永6年（1853）、
ペリー來航を機に、時の
老中首座阿部正弘が若手
外交官僚の抜擢によりそ
の難局を乗り越えようと
昌平黽の俊才たちを登用
した結果、岩瀬も嘉永7
年（1854）、36歳の若
さで目付、応接掛兼海防

掛に抜擢され、安政4年（1857）12月には米国総領事ハリスとの日米修好通商条約の交渉を任せられ、安政5年（1858）1月、一ヶ月の交渉でその草案を取りまとめると、条約の勅許を得るために老中堀田正睦（以降堀田）に同行して京都まで赴いた。が、意に反して勅許を得られず江戸に戻ると、同年4月に大老に就任していた井伊直弼（→以降井伊）の内諾を得て同年6月、同条約に署名した。更に同年7月、外国奉行に格上げされ、同月中に日蘭、日露、日英、更に9月には日仏の各修好通商条約にも署名したのである。

井伊の方が格上であつたため、後世、井伊が勅許を得ずに条約に署名したと非難もされ、先見の明があつたと評価もされている。大老に就任して間もない井伊にしてみれば、外務官僚でそれまでの交渉当事者であつた岩瀬の建言を容認したということであろう。が、下僚である岩瀬のこの迅速な署名が不遜と映つたのか、9月3日に日仏条約の署名が終了するとその2日後の9月5日、岩瀬はたつた二ヶ月の在任で作事奉行に左遷され、更に翌安政6年（1859）8月には永蟄居の処罰まで受けるのである。

評價

さぞ同行したかつたであ
ろう。同年3月、桜田門
外の変により井伊は倒れ
るが、翌文久元年（18
61）7月、江戸向島の
岐雲園に蟄居していた岩
瀬はそれを解かれること
なく、わずか44歳で病没
するのである。

その時に待っていたが、更に、「清国と天津条約を結んだ英仏の大艦隊とロシアがその余勢を駆って清国から日本に向かっており、それらの国に無手勝流で対峙すると清国の二の舞になる恐れがある。それよりも彼らに先行して米国と条約を締結しておけば彼らもそれに準拠するだろうし、日本としてもその方が得策である」と助言もしていた。そうした風雲急を告げ一刻の猶予もない中で、岩瀬は、最早説得や議論に時間を無駄に費やす時期は過ぎており、ここは全権として責任を一身に負つても行動するしかない、という止むを得ないギリギリの現場判断により、勅許なしの署名を行つたのである。

付けられた不平等条約であると酷評されることになつた。が、幕府内に岩瀬のような積極的な開国論者がいたからこそ、この歐米列強との条約が土壇場で無事締結されたのであり、この条約がなければ明治の近代化路線は簡単には敷けなかつたであろうと思われる。

明治4年、岩倉具視特命全權大使一行が欧米各国を歴訪し、ニューヨークでハリスから懐旧談を聞いた時も、ハリスは次のように語つて岩瀬を絶賛した。そのうである。

〔岩瀬は綿密に条約逐條の得失を審議したので、曲げて岩瀬の意に従つたことも少なくなかつた〕（岩倉一行の書記官長であつた田辺元一著、『幕末外交談』）。

追悼



右の写真は、新城市設楽原歴史資料館前で遙か彼方のNYを指差して立つ、岩瀬の銅像である。

資料館は、武田勝頼率いる騎馬長槍軍を織田・徳川連合軍が馬防柵を築き、鉄砲の集中砲火により打ち破った長篠の戦いの戦跡（設楽原）にあり、その関連の資料開陳が中心であるが、その一角に

料も多く陳列されている。

従来、豊橋方面とか東京・大阪方面から訪れる

のは少々不便であつたが、第二東名が開通し、新城ICの出口から近いこと、もあつて訪問者が増えるようになつた。

この資料館正面に平成28年4月29日、岩瀬を顕彰する本銅像が除幕された。作者は日本芸術院会員であり文化勲章受章者である中村晋也氏であるが、発願と銅像の新城市への寄贈は岩瀬の地元顕彰会『忠震会』並びに本会の名誉会長、そして私の長兄滝川一興である。

前会長である父一美以来の悲願を成就して肩の荷を下ろしたのか、除幕後1年を待たずして卒然と他界してしまつたが、そのあまりに早い旅立ちは真に残念でならない。

参考文献 「光芒」遙かな
り—小説岩瀬忠震 岸
上耿久著・忠震会発行

「施設長資格認定講習課程」とは

特別養護老人ホーム麗楽荘副荘長 鈴木恒也

私は法人本部から指示を受けて、本年度の「社会福祉施設長資格認定講習課程」をロフォス湘南にて受講しています。そもそも本講習がどのようなものなのか、ここで説明しておきます。

まず、各都道府県が定める社会福祉法人の施設長に就くための要件があります。ここ愛知県では、①社会福祉主事の要件を満たす者、②社会福祉事業に2年以上従事した者、③社会福祉施設長資格認定講習会を受講した者、となっています。現在受講している講習課程がこ要件③に当たります。



研修施設のロフォス湘南

本講習は、昨年5月中旬～今年1月下旬を4学期に分けてあります。その1学期ごとの4教科に沿って、今年1月に4月頃に発表される結果は4月頃に発表され

教科は「人事・労務管理」「社会概論」「社会福祉施設経営管理」「財務管理」「老人福祉論」等で専門知識や管理能力を学習し、施設長としての実践能力を高めることを目的とします。提出するレポートについては、それぞれの専門分野の講師により評価され、基準を満たしていなければ容赦なく不合格とされます。この最終結果は4月頃に発表されますが、全ての教科に合格していれば晴れて卒業となり、修了証書を手にすることができます。

文章にすればこれだけのことです。あつという間ですが、座学が苦手な私は大変長い道のりでした。



熱気が満ち溢れる研修会場

しかし、その道のりを今振り返ってみると、多種多様な分野を学習したことにより、新たな知識を得ることができたり、何となく知っていたことも更に深く学べたりと、私にとっては大きな成長に繋がったと感じます。この一年で学んだことを今後の法人に還元するとともに、私自身のキャリアアップにも繋げていくよう、一層努力していく所存であります。

平成三十年度からの東三河広域連合

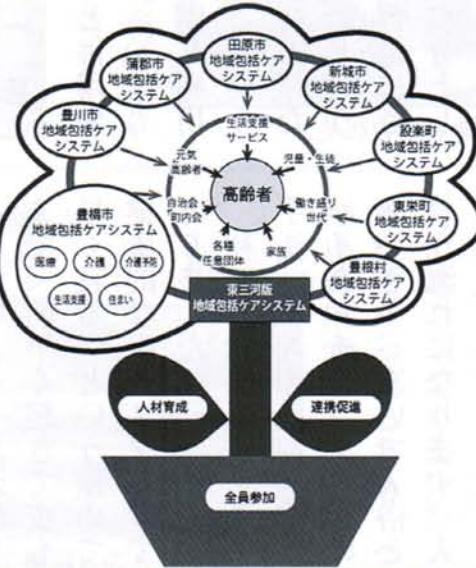
地域包括支援センターBVH主任ケアマネ 堀内由美

平成三十年四月より、
豊橋・新城・豊川・蒲郡・
田原の各市と設楽町・東
栄町・豊根村の8市町の
介護保険者を統合し、東
三河広域連合が新たに全
体の保険者となります。

事業所所在
地の市町村
に住民票の
ある方のみ
が対象です
が、来年度
からは、東
三河内であ
れば事業所
所在地外に
住んでいる
方も利用で
きるようにな
ります。

チエツクリストの判定で、訪問介護サービスや通所サービスを利用する総合事業が開始されていました。本年度までは、原則としては

■ 東三河版地域包括ケアシステムの将来像



今後の地域包括支援セントラルの役割としては、超高齢社会への備えを盤石なものにする為にも、この様な地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを推進することが重要です。東三河広域連合が掲げる3つの視点「全員参加」「人材育成」「連携促進」を基本として、来年度よりこれに努めてまいります。

も、住んでいる市町村だけでなくどこの窓口でも可能になるなど、ご家族にとつてもメリットが多くなると思われます。

そして、今回のこの変更に伴い、被保険者証・負担割合証・負担限度額認定証の番号が、65歳以上の方を対象として新しくなります。

シリーズ⑤—DSC吉かわ編

老人保健施設ベルヴューハイツ事務主任 滝川一善

ここまで入所系施設を順に回つきましたが、初めて通所系に配属となりました。DSC吉かわは、一誠福祉会では唯一のデイサービス単独の施設であります。経余曲折を経て、昨年には開設十周年を迎えたところ。

入所系施設との一番の違い、それは日によつて利用者の顔ぶれが異なることでしょう。つまり、氏名や容貌を含む利用者特性を把握するのに相当の時間を要します。それぞれのケアプランにおいて、吉かわの利用回数が介護度の低い人ほど少なく、また介護度の高い人

は他のサービスと併用するケースが多いのです。

ですから、毎日同じ利用者と顔を合わせるという

ことではありません。ただ、介護度が低めということから比較的容易に意思疎通を図れ、自分としては割と早く利用者特性

を把握出来たと自負しています。その代わり、送迎の道順や豊橋市西部の地理把握に時間を費やす、その点で私は即戦力となり得ませんでした。

送迎といえば…、DSC吉かわはサービス提供開始時刻が概ね午前九時。従つて、八時頃から各方面へ迎えに散ります。つ

まり、出勤時刻はもつと早く、毎日が早番出勤であるかのよう。おかげさまで、朝早く起きて夜も早く寝る、という極めて健康的な生活スタイルであります。

利用者が到着すると、手洗い・うがいに続き、バイタルチェック・朝のあいさつ、次いで入浴という流れになります。入浴の順番を待つてゐる時あるいは入浴後にそれぞれ脳トレを行い、午前中を過ごします。

温泉発生装置的な機器が設置されているのですが、こちらでは毎日、湯谷温泉の湯が浴槽に投入されますので、多少なりとも温泉効果が得られる、というのも売りの一つです。麗楽荘ほどではありません。

ませんが、男性が一度に五~六名入浴しても余裕がある浴槽で、ゆつたりとした入浴タイムが過ごせます。

午後は昼食の後、体操の時間を持ち取り、カラオケやゲーム等のレクリエーション。おやつの後にはミニレクを行つて帰宅という流れです。レクリエーションも時間を余すことなくミッチャリ行います。利用者さんのほとんどが熱心に取り組んでくれていました。長年在籍しているスタッフの地道な取り組みが、功を奏していると言えるでしょう。

習字や絵画といったボランティア活動も受け入れ、好評のうちに利用者に迎えられています。



吉かわ自慢の菜園ですが、蚊が多い…

菜園活動も活発に行つております。着任数日後には数名の利用者とジャガイモの収穫作業。別日には瓜系植物の受粉作業。なす・トマト・葡萄等の収穫もありました。収穫した野菜や果物は、「絵手紙教室」での題材として利用します。農薬の類は一切使用していないので、生でも大丈夫な収穫物は、

こつそり食べてしまっても…。

着任時期が七・八月と夏真っ盛りでしたので、季節行事も盛大に行われました。詳しくは過去の「作楽」をご覧ください。



七夕の日の行事 流し素麺

この時期はすぐに雑草が覆い茂り、草刈り・草取りも必須となります。樹木の剪定も同様ですが、なかなかそこまで手が回



竜巻で横倒しのトラック

に当地を通過したのに、何が起きたのか分かっていないなかつたことも一つの思い出です。

警察や報道各社よりも先に当地を通過したのに、何が起きたのか分かっていないなかつたことも一つの思い出です。

らないのが現状であります。とは言え、放つておけば後が大変になるから、

いきなり高齢者人口が増えていると言つても、「パイの奪い合い」の状況。そんなん中、DSC吉かわは

と主任の了解を得て出勤者数が多い日等、チャンスを得る度に少しずつ実践しました。台風五号の接近に伴つて発生した竜巻に、巻き込まれそうになつたこともあります。概ね定員の八割、多い日には「満員御礼」という数値で推移していました。

先に挙げたサービス提供内容の充実も大切ですが、一番の魅力は、平均年齢がやや高めながらもスタッフが明るくて元気なこと。それで利用者の皆さんも元気になり、いつも賑やかで楽しい時間が過ごせるという好循環が生まれます。だからこそ競争の激しいデイサービス業にあって、好评を博していると言える

豊橋市内はデイサービ

シリーズ⑯ 現在に残る天空の城(後編)

老健ヘルヴュハイツ生活相談員副主任 高橋初典

今回も「現在に残る天空の城(後編)」としてお話を進めたいと思います。

まずは愛媛県松山市にある「伊予松山城跡」です。松山城は、道後平野の中核部に位置して勝山頂に本丸を置き、中腹に二の丸、山麓に三の丸を置いた広大な縄張りで、姫路城と並ぶ典型的な連立式平山城です。

築城者の加藤嘉明は三河出身で、父の広明は徳川氏譜代の武士でした。しかし六歳の時に父広明は亡くなり、孤児となつて諸国を流浪した嘉明は、やがて羽柴秀吉に見出され家臣となります。秀吉の死後、関ヶ原の戦いでは徳川家康に従軍し、二



伊予松山城の連立天守群

昭和八年(1933年)
頃には、約四十棟の建造物が現存していましたが、

十万石の大名へと出世して松山城を築きます。

加藤氏が会津へ転封になつた後は、家康の異父弟の家系である久松・松平氏が城主となり、明治維新を迎えます。ちなみに元NHKアナウンサーの松平定知氏は、久松・松平氏直系の子孫です。

火災や空襲により二十棟にまで減少し現在に至ります。しかし、大天守閣に多門櫓で三つの小天守が繋がった連立式天守群と高石垣は、圧倒的な迫力を誇っています。

また私事で恐縮ですが、去年松山市で開催された老健全国大会に私も参加

年振りに松山城を鑑賞する事ができました。現在はロープウェイとリフトで山頂付近に行けるので、四国を訪れた際は是非立ち寄つて下さい。

次は、滋賀県近江八幡市にある「観音寺城跡」です。観音寺城は、琵琶湖東で一番高い観音寺山の山頂を本丸とし、山の要所に曲輪や砦を構え、近くの峰々にも支城を配した、規模の大きい総石垣造りの山城でした。

続いて、同じく近江八幡市にある「安土城跡」です。織田信長は天正四年(1576年)に入り、



観音寺城の二の丸石垣跡

重臣の丹羽長秀を総奉行に安土山の築城を開始します。以前の居城・岐阜城より京に近く、琵琶湖に面していたので水運の面でも有利と考えて築城したと思われます。高さ32mの大型天主や全曲輪に高石垣を用いた初めての城で、これ以降に築城された城は、「近世城郭」と呼ばれ区分されます。

しかし信長は天正十年（1582年）、本能寺の変により家臣の明智光秀に討たれてしまい、城を明智側に利用される



安土城の羽柴秀吉館跡

（1582年）、本能寺の変により家臣の明智光秀に討たれてしまい、城を明智側に利用される

のを恐れた信長の次男・信雄が、天主や御殿等の主要な建物へ火を放ち焼失したといわれています。滋賀県は、平成元年（1989年）より二十年にわたり発掘調査と石垣や石段の修復工事を行い、城跡は美しい姿へと生まれ変わりました。平成二十年（2008年）をもって調査は終了しましたが、県の財政事情で全体の20%しか実施できず、と100年は必要とされ将来に委ねられます。また近くにある「信長の館」という施設には、天主の最上部5・6階部分が原寸大で復元展示されており、こちらも必見です。

最後は、豊臣秀吉の甥、関白・秀次の居城「八幡山城跡」です。秀吉は、信長の死後に権力を握る

と、安土城の痕跡を嫌い天正十三年（1585年）、標高283mの八幡山に城跡は、山頂部の詰めの城と麓の居館との二つの空間から成り立っています。このように、防衛城跡は美しい姿へと生まれ変わりました。平成二十年（2008年）をもって調査は終了しましたが、県の財政事情で全体の20%しか実施できず、と100年は必要とされ将来に委ねられます。また近くにある「信長の館」という施設には、天主の最上部5・6階部分が原寸大で復元展示されており、こちらも必見です。

城が機能していた事に起因すると思われます。山頂部分は総石垣で固められ、五層の大天守閣を建てた事により、麓からの景観を意識した造りであったようです。こち



遠方から望む八幡山城跡

この4回の連載では掲載できませんでしたが、島根県にある尼子氏の「月山富田城跡」や鳥取県の「米子城跡」等、天空の城はまだ多く存在します。またの機会に紹介できたらと思います。

で登れるので、年配の方でも安心です。また、安土から町人を移住させて城下町を築いたので、近江商人の名が全国に知られるようになりました。その町割りが現在も残つております。この町割りが現在も残つており、近江八幡の観光スポットになっています。

シリーズ—口から始まる介護②

老健ベルヴューハイツ 言語聴覚士 本田 雄一

前回は、話すこと食べることに関する障害を、身近な例を挙げてお話ししました。今回からは、食べることの障害、摂食嚥下障害について述べたいと思います。

介護現場においてもなかなか難事といえるこの障害。それは、飲食物が食道でなく気管に入つてしまふ誤嚥により肺炎になつてしまつたり、窒息してしまうなど、生命の危険と直結してしまつ障害だからです。そのため食事の介助場面でも集中力が必要となります。

『摂食』とは食べるこ

とに特に必要なエネルギー源となる食物を、口から体内に取り込むこと全般をさし、英語の『eat』にあたります。これに対し「嚥下(えんげ)」といふ言葉は、単純に飲み込むこと、飲み込む動作だけを意味します。したがって、摂食動作の一部に嚥下動作があるのです。

このように「食べる」という行為は、單に飲食物をゴクンと「飲み込む」ことだけではありません。私たちが食事をする時には、何をどのくらい口に運ぶかを判断する、咀嚼(そしゃく)する、舌を使つてのどの奥へ送り込

むといった一連の動きを無意識にしています。この過程の一部の障害で、「上手く食べられない」

の地域でも共通なのでしょうか? 異なる言語間での偶然とは思えない一致がみられます。

ちなみに、この「嚥下」の嚥という漢字は、口と燕(つばめ)という字からなりたっています。また、飲み込むことを英語では『swallow(スワローウィー)』と言いますが、この語には鳥の燕という意味もあります(プロ野球チ

交通事故よりも窒息で亡くなる方が多く、また近年になって、肺炎は日本人の死因第三位へと上昇しました。ここには、高齢化社会における摂食嚥下機能の重要性が示されているのです。(続く)



ヤクルトのマスコット「つば九郎」(右)

施設だより

○成人式=二十歳の誓い

特養介護士 中山和笑

高校を卒業して社会人
二年目の今年、私は成人
式を迎えました。

当日は、晴れ着を身に着けて式典会場へ。なつかしい顔ぶれに再会し、楽しいひと時を過ごしました。また式典では、人生の先輩からのスピーチがあり、そのアドバイスで気持ちを新たにすることができました。

そんな時に私の頭に浮かんだのは、毎日仕事で接している職員や入所者の皆さんのお顔。自然と職場の「作楽荘」に足が向くのでした。



晴れ着姿が大好評でした

職場に着き早速晴れ着姿をご披露すると、皆さんが笑顔で歓迎し、祝福してくださいました。こんな温かな職場で仕事ができているんだと、改めござりがたさを実感してとても嬉しい気持ちでいっぱいになりました。

○私流の書初め体験

デイ利用者 村瀬知子

私は週三回デイサービス作業に通っています。

白板があり、その週の主

年初週始めの利用時に、今日は何だろうと見てみたら、「書初め」と書かれていました。驚きと動揺の両方の気持ちで戸惑いましたが、決められた事には従うべく午後の書初めに参加致しました。

ここ数年、半紙に筆で文字を書く事などとはほど遠い生活です。下手を其の儘書き、半紙眺めるばかりでした。そこで、私は出席の日には連絡帳を提出していますので、

その日の心中を訴えましたところ主任さんからのコメントは、「何事も参加することに意義がありますから、余り気負わずのんびりやりましょう」との、警告とも励ましともとれるお言葉でした。

私はハッと我に返り、翌日もう一度挑戦させて頂きました。主任のお言葉通り素直に自分を出して、立派なお手本の美文字にはこだわらず、今の自分を表現出来る「長寿」の二文字を我流で一生懸命書く事が出来ました。



自己表現の二文字です

平成三十年元旦
村瀬知子

美光ハイム

○食事と初詣とお買い物

介護士 萩森 明子

1月19日、入居者7名の皆さんと一緒に、豊川稲荷へ初詣に出かけました。当日は風もなく、上着がいらないくらいの日も当たり、絶好のお出かけ日和となりました。

初詣の前に、「和食」と「洋食」で少し早い昼食をとりました。お腹がまだ空いていないと言いながらもメニューを選ぶ目は真剣そのもの。季節限定メニューの牡蠣料理を注文される方が多く、堪能され大変満足そうでした。お稲荷さんに着くと、皆さん慣れた様子で本堂へ直線。「何をお願いしましたか?」と聞くと、



豊川稲荷総門前に勢揃い

「一年元気に過ごせますように」「来年も初詣に来られますように」と、笑顔で教えてくれました。

門前の商店街でお買い物

をしましたが、店内に入

るや否や、あつという間

に皆さんのカゴの中身は

一杯になっていました。

お見事! 初詣など、楽

しまれたでしょ?

俱楽荘

○書道地域交流会の開催

生活相談員主任 工藤 健史

俱楽荘開設より6年。当施設を有効活用出来ないかと常々考えていたところ、自治会長さんの紹介と町内習字教室の先生のご厚意で、昨年12月21日、書道地域交流会をここで開催しました。

当日は先生と入居者さん12名、生徒さん20数名、地域の方々数名が参加されました。入居者さんの中には、「習字なんて初めてだ」という方もみえましたが、出来上がった作品は立派なもので、先生に褒められて照れくさそうにしていました。また一方では「やる気満々」といった方もみえて、一

生懸命ご自身の作品を仕上げていました。

今回の訪問は主に小学

1年生から中学2年生ま

での地域の生徒さん達で

したが、書に向かう皆さんの表情や態度は真剣そのもので、作品はどれも素晴らしいです。



莊内に作品展示しました

入居者さんもその生徒の皆さんのが書く姿を見て回ったり、地域の皆さんとお喋りしたり、良い時間を過ごせたのではないかと思います。



毎日が感謝です（写真左）

○ GHくらら

○くらりに入居して

GH入居者 神谷 規矩子

私が平成二十九年十月七日、弥生病院より入居して、はや三ヶ月が過ぎようとしています。

入院中は背骨二カ所の骨折の為に三か月のベッド生活を余儀なくされましたが、リハビリのおかげで、シルバーカーで自分の好きな所へ歩けるようになりました。

この職員さん達はどなたも私達入居者の辛い事を受け入れ、親切に尽くしてくださいます。その為、私の我儘や甘えが出る事もありますが、自分自身も衰えてしまうので、出来る事は自分でやっていきたいと思っています。

今までの人生は商売一筋、主人を支えてきましたが、このような贅沢な場所がある事を初めて知り、ここで勧めてくれて色々面倒をかける家族にも有難い気持ちでいっぱいです。

毎日美味しい食事を頂き、会話の弾むお友達もでき、感謝しております。これからも大好きなカラオケや体操を楽しみながら、明るく生活したいと思います。

入居して思う事は、この職員さん達はどなたも私達入居者の辛い事を受け入れ、親切に尽くしてくださいます。その為、私の我儘や甘えが出る事もありますが、自分自身も衰えてしまうので、出来る事は自分でやっていきたいと思っています。

斯楽荘では、多目的室に集まって、恒例の餅つき大会を開催しました。白を囲んで輪になると、始めは皆さん何が起ころのかと緊張気味でした。

それでも、餅つきが始まると笑顔になって、「ヨイシヨー」と小さな掛け声が出始めました。そしてお餅がつき上がる頃には、皆さんの「ヨイシヨー！」ヨイシヨー！もういつちよう！」の掛け声で大いに盛り上りました。

お餅とからめる食材には、あんこ・きな粉・大根おろしを用意してあります。その三種類のお餅を一口サイズにして提供

○ 斯樂荘

○笑顔の餅つき大会

介護士 二見 広子

しました。皆さんそれを一杯に頬張って、詰まってしまうのではないかとヒヤヒヤするほど…。

甘いあんこのお餅が一番人気で、三杯四杯とお代わりする方もいました。



力自慢の森ナース登場です

皆さんのが笑顔が室内一杯にあふれ、お腹も心も充実した時間を過ごしていただけたと思います。職員も入居者の皆さんと共に、楽しいひと時を過ごすことができました。

★ベルヴューハイツ★

○節分祭の鬼退治！

老健事務長 夏目 民夫

老健ベルヴューハイツでは、二月三日に恒例の節分祭を開催しました。

寒さが一段と厳しかった時期に、猛威を振るうインフルエンザの予防とともに皆さんの体調不良の悩み解消を願い、そして災いの防止を願い、老健とディイケアで行つた「邪気払い」豆まきです。

日本では古来より、穀物や果物には「邪気を払う靈力」があると考えられてきたそうで、五穀の一つの大蔵には穀靈が宿るとされます。そして、鬼が登場するのも、鬼の目を表す魔の目に「豆をぶつけて魔を滅ぼす（魔

滅）」ということから、邪氣を追い払い一年の無病息災を願う意味合いが込められています。本来鬼とは、「姿の見えないもの」や「この世ならざる者」など、得体の知れない「邪気」のことを意味し、災害や病気などの悪いことは全部、鬼の仕業と考えられてきました。

例年当施設の節分では、

新卒新人などこの一年間の採用や異動による新たな職員、また行事委員有

志などから、普段はとくに優しい男女が赤鬼・青鬼に扮し各フロアを回ります。今年も鬼とは全く無縁の四名が選抜され、入所者さんと利用者さんに大いに楽しんで頂こうと、打ち合わせに余念がありませんでした。

当日となり、いよいよ豆まきのスタートです。司会進行役の「鬼が登場しましたよ！」皆さんのが悪い物を、鬼と一緒に追い払いいましょう！」の掛け声に合わせ、「豆」ならぬ「ボール」を手に、鬼に掛けて一斉攻撃が始まりました。

鬼役となつた若き職員たちは、「鬼は外！ 福は内！」の大量ボール攻撃を受けて逃げ惑うと、ま



鬼役は優しい職員ばかりです（老健）



こちらは皆さん剛速球で（ディイケア）

た更なる追い打ちのボール攻撃を受けながら、「イタイイタイ！ 勘弁勘弁！」とやつと任務を終え退散していきました。

一部の方からは、「職員さんも大変だね」「ご苦労様」との優しい声もありましたが、「ああ、楽しかった。すつきりした」と

の情け容赦ない声が大勢を占めていたようです。

これで間もなく、施設にも春がやつて来ました。

○久しぶりの「餅つき会」

介護士副主任 野澤 佳正

新年を迎えて正月気分が抜けきる前の一月十日、DSC吉かわでは久しぶりの「餅つき会」です。

昨年の暮れに、「餅つきはここじややらんだのん?」と、いかにも残念そうな声がちらほら…。

それに応えるべく、職員が立ち上りました。

手早く餅を一口大に丸め、餡子・きな粉・大根おろしをまぶします。大

根は勿論、吉かわ産。寒さにも負けず大きく育ち

ました。これもひとえに、利用者さんからの数々のアドバイスの賜物です。

お餅は冷めないうちにお腹へ運ばれて、利用者さんの笑顔が職員にとつて最高のご褒美でした。

当日の昼食後、入所者の皆さんには1階に移動

者さんは、「返しはしたことがあるけど」と言いつつ真剣についてくれました。



森主任と一緒に二重奏

○麗樂荘の初詣

特養介護士副主任 滝川 和良

1月1日の午後は、麗樂荘玄関横に設置されている「一誠神社」で初詣。

この神社は、拝殿とともに鳥居・石畳と狛犬の台座で構成されています。

職員手作りの神社ですがとても良く出来ているので、皆さん真顔で参拝に来ます。

良い年になりますように…



して頂き、一人ずつ順番に神社の石畳を通り、鳥居をくぐり、拝殿前まで進み、参拝して頂きました。事前に手渡しておいたお賽銭を賽銭箱に入れ、手を合わせ、真剣にお参りされている姿は、とても印象的でした。

入所者の皆さんにはそれぞれ個性があるので、神様に向かって手を合わせてお願い事をする姿も様々ですが、信心は年を重ねるにつれて、深くなつてくるものだと改めて気付かされました。

入所者の皆さんのが願い事が叶うのを祈念すると同時に、介護職員として今後も入所者の皆さんに笑顔で過ごして頂けるよう、さらに頑張りたいと思います。

○DSC吉かわ

—

○麗樂荘

—

○一度楽しい寄せ植え会

デイ介護士 金田 智

昨年度から始まつた寄せ植え会も、早いもので第四回目を開催することとなりました。

今回は正月なので、冬に元気なハボタン、色鮮やかなキンギヨソウ、春を告げるチューリップの球根に決めました。

まず参加者の方たちに何を植えるか説明してから、寄せ植えを開始しました。花には様々な色があるので、一人ひとりに選んで頂きました。「ワシの花はまだか!」と叫ぶ方や逆に植え方を説明してくれる方や…。そして、不思議と手は汚れているのに笑顔は絶えず、



寄せ植えを囲む麗楽美女連

時間があつという間に過ぎてしまいました。「樂しかった。また次回も参加したい」と言つて下さった方も多くいました。

最後は、お決まりのニッコリ記念撮影です。以前もその写真をプレゼン

トした際には、「部屋に飾つてあるよ」と喜んで下さった方もいました。

今回も今日の写真を後日プレゼントして、寄せ植え会を二度楽しんで頂こうと思つています。

これは旦那さんに似てるよ」「この顔もないではないね」などと、笑いながら楽しみました。

この福笑いは、お正月日本の伝統的な遊びで、明治頃に定着されたとされています。その起源については明確になつておらず謎ですが、「笑う門には福来る」のことわざ

○新春の福笑い

生活相談員 川崎 俊弘

新春を迎えた一月二日に和光ハイムでは、お楽しみ会と題して「福笑い」に興じました。

入居者の方たちが、「これは目だよ…」「もう少し上、右…」と声を掛け

合いながら出来上がった顔の表情を見て、「あつ、あら、いい顔だよ…」と書いて「お多福」と呼ばれ親しまれています。



和光は福笑いで仲睦まじく

今年も「おかめ」さんにならつて、皆さんが笑いながら楽しく過ごすこの和光ハイムに、多くの福が訪れますように…。

GHうらら

○書き初めに思いを込め

介護士 田中智子

新年を迎え、グレープホームうららでは恒例の書き初めを行いました。

入居者の皆さんに今年の抱負などを聞いてみましたが、なかなか思いつかない様子でした。職員が一緒になって談笑しながら一生懸命、書き初めにふさわしい言葉を考えました。

書く前は皆さん、「上手く書けるかやあ」「書いた事ないやあ」「書き始めも、緊張の面持ちで何枚も書き直していくましたが、徐々に慣れてこられたのか、達者な筆使いが戻ってきました。



わん！ダフルな書き初め

にと「初春」、お孫さんとの日々を懐かしく思いながら「お年玉」、今年の干支の「いぬ」など、入居者の皆さんがそれぞれの思いを込めて、筆を走らせてくれました。

良い年を送れますようにと「初春」、お孫さんとの日々を懐かしく思いながら「お年玉」、今年の干支の「いぬ」など、入居者の皆さんがそれぞれの思いを込めて、筆を走らせてくれました。

奇楽荘

○鏡開きで無病息災

介護士 木崎由梨

ここ奇楽荘では、入居者の皆さんのがんばりの今年一年の無病息災を願つて、一月十一日に年中行事の「鏡開き」をしました。

ユニットごとに、鏡餅

からせんざいを作つて提供します。お鍋に小豆を入れてぐつぐつ…と、甘い良い香りがお部屋全体に立ち込めると、その香りに誘われて、「美味し」というなにおいだね」と楽しそうに談笑しながら、期待を寄せていました。

書き終えて晴れ晴れとしたその表情からは、満足感がうかがえました。今年もこの書き初めのようになりのびと1年を過ごしていただこうと、心より願っています。



待つのもそろそろ限界です

「懐かしいね。正月の気分になつた」「昔は家でお餅をついて、鏡餅を作つていたよ」「お餅をつく杵と臼の音が、聞こえてくるようだ」と、昔話に花も咲きました。そしてもちろん、お味は「美味しいかった」の5つ星。

皆さんの喜ぶ姿に、日本伝統の行事は大切なと感じました。これから先も、入居者の皆さんが楽しめる年中行事を続けていきたいと思います。

GHきらら

○ 地域の絵手紙教室

介護士 宮下 市陽

新城のとある喫茶店で「絵手紙教室」のイベントが開催されたので、3名の入居者さんと一緒に楽しんできました。

初めのうちはうまく出来るかと心配する声ばかりでしたが、講師の先生から、「みんな違つて、それでいいんですよ」との説明を聞いてからは、皆さんとてものびのびと絵を描かれていきました。

また先生は、文字に良い悪いはなく全て個性の表れであるという考え方で、これは福祉業界に通じる所があると感じました。

参加された地域の皆さん



楽しそうな人、真剣な人…

んとの会話の中で、「グル

ープホームでは普段どんな生活をしているんですか?」との質問があり、

「みんなで料理を作ったり、畑で野菜を育てたり

しとるだよ」と入居者の原さんが答えると、皆さん驚かれていました。

30分程かけて完成した

きらら3名の入居者さんの絵手紙は、それぞれ特徴が出ていて、とてもすばらしい作品です。

本 部 日 誌

平成30年1月

荒木於 ライフポートとよはし
職種別会議(保健師)(高須於 彩幸)
寿司祭り

4日 理事長年頭調査(於 TSK)
6日 採用選考筆記試験(於作楽荘)
10日 経営陣プロジェクト第8回キャリアバス研修(於作楽荘)

16日 採用選考面接(於作楽荘)
職員代表者プロジェクト第7回キャリアバス研修(於作楽荘)

24日 バス研修(於作楽荘)

25日 本部会議(於斯樂荘)
キアリーバス研修(於 B.V.H.)

26日 法人創立30周年記念事業実行委員会(於斯樂荘)

31日 平成30年2月

2日 採用選考筆記試験(於作楽荘)
採用選考面接(於 GHきらら)

6日 採用選考筆記試験(於作楽荘)

7日 採用選考筆記試験(於作楽荘)
採用選考面接(於作楽荘)

14日 採用選考面接(於作楽荘)
経営陣プロジェクト第9回キャリアバス研修(於 B.V.H.)

17日 職員代表者プロジェクト第8回キャリアバス研修(於作楽荘)

21日 後援会新域理事会(於麗楽荘)
法人創立30周年記念事業実行委員会(於斯樂荘)

28日 第9回理事会(於 TSK)
後援会会費理事会(於作楽荘)

10日 平成30年1月
4日 理事長年頭調査(於 TSK)

10日 荘内研修茶々俱楽部
研修(於作楽荘)

8日 給食会議
7草粥

9日 荘内研修茶々俱楽部
研修(於作楽荘)

11日 認知症サポート講座(包括於 リングデザイン)

12日 鏡開き
福岡校区民生委員見学会
職員代表者プロジェクト第7回キャリアバス研修(於麗樂荘)

18日 荒木於 ライフポートとよはし
職種別会議(保健師)(高須於 彩幸)
水セントラル
鉄山カフェ(白井主任於 小池町鉄山公民館
誕生日会)

21日 河合 秀治さん 68歳 鈴木 たかさん(91歳)
杉浦 なかさん 91歳 中島つ江さん(95歳)
鈴木しげ子さん 86歳 山崎 幸男さん(85歳)
柴田 ともさん 86歳 田代ミコ子さん(90歳)
宮本 エツさん 87歳

24日 副主任於 豊橋市民病院
本部会議(於斯樂荘)

25日 経営陣プロジェクト(準職員制度)第3回
キアリーバス研修(於 B.V.H.)

26日 職種別会議(社会福祉士)白井主任・大塚

27日 沢田久美恵さん(84歳)
小久保みち子さん(84歳)

28日 副主任於 豊橋市民病院
本部会議(於斯樂荘)

29日 経営陣プロジェクト(準職員制度)第3回
キアリーバス研修(於 B.V.H.)

30日 連絡会議
法人創立30周年記念事業実行委員会(於斯樂荘)

31日 本部会議(於斯樂荘)

32日 沢田久美恵さん(84歳)
小久保みち子さん(84歳)

33日 経営陣プロジェクト(準職員制度)第3回
キアリーバス研修(於 B.V.H.)

34日 連絡会議
法人創立30周年記念事業実行委員会(於斯樂荘)

35日 沢田久美恵さん(84歳)
小久保みち子さん(84歳)

36日 経営陣プロジェクト(準職員制度)第3回
キアリーバス研修(於 B.V.H.)

37日 連絡会議
法人創立30周年記念事業実行委員会(於斯樂荘)

38日 沢田久美恵さん(84歳)
小久保みち子さん(84歳)

39日 経営陣プロジェクト(準職員制度)第3回
キアリーバス研修(於 B.V.H.)

40日 連絡会議
法人創立30周年記念事業実行委員会(於斯樂荘)

41日 沢田久美恵さん(84歳)
小久保みち子さん(84歳)

作 楽 荘 日 誌

平成30年2月

3日 節分・豆まき

6日 職種別会議(主任ケアマネ)(渡邊於 大清水セントラル)

7日 介護支援専門員茶話会(居宅於 大清水セントラル)

9日 実地指導(デイサービス・訪問介護・居宅介護支援事業所)

10日 福岡地区民生委員定例会(包括於 福岡地区市民館)

11日 給食会議

12日 荘内研修茶々俱楽部
研修(於作楽荘)

13日 後援会会費理事会(於作楽荘)

14日 経営陣プロジェクト第9回キャリアバス研修(於 B.V.H.)

15日 連絡会議
法人創立30周年記念事業実行委員会(於斯樂荘)

16日 山中千代子さん(95歳)・村田さくら子さん(92歳)
山内はるあざん(93歳)・立花 福美さん(69歳)

青木ちよ子さん(90歳)・近藤千代子さん(86歳)
蟹江 朝子さん(93歳)・長安登茂枝さん(93歳)

(23) 平成30年3月10日

作 樂

- 21 日 斯研修(於麗樂莊)
本部會議(於麗樂莊)
- 22 日 職種別會議(保健師)(高須於幸上寿園)
後援会新城理事會(於麗樂莊)
- 23 日 介護保険関係事業者連絡会(居宅・包括於農橋市公会堂)
- 24 日 連絡会議
25 日 莊内研修茶々俱楽部
職種別會議(社会福祉士)(白井主任・大塚副主任於農橋市民病院)

美光ハイム日誌

平成30年1月

- 1 日 雜煮会
6 日 講演会「骨粗鬆症について」(瀧川一成医師於美光)

俱 樂 莊 日 誌

平成30年1月

- 9 日 カラオケクラブ(講師 白川先生)
10 日 書道クラブ(講師 酒井先生)
11 日 茶道クラブ(講師 西口先生)
12 日 健康体操クラブ(講師 大須賀先生)
13 日 華道クラブ(講師 田中先生)
14 日 初詣
15 日 カラオケクラブ(講師 白川先生)
16 日 鍋会
17 日 華道クラブ(講師 白川先生)
18 日 初詣
19 日 カラオケクラブ(講師 白川先生)
20 日 鍋会
21 日 華道クラブ(講師 大須賀先生)
22 日 カラオケクラブ(講師 白川先生)

平成30年2月

- 1 日 茶道クラブ(講師 西口先生)
3 日 節分
13 日 カラオケクラブ(講師 白川先生)
14 日 書道クラブ(講師 酒井先生)
15 日 華道クラブ(講師 田中先生)
20 日 健康体操クラブ(講師 大須賀先生)
27 日 カラオケクラブ(講師 白川先生)

平成30年2月

- 1 日 初詣(～3日)
4 日 年頭調査(鈴木主任於 TSK)
10 日 應問(おたまじやくしの会)
15 日 連絡会議
21 日 Aユニット誕生日会
26 日 運営推進会議
29 日 新年会

平成30年2月

- 1 月 誕生日者
伊藤 友子さん(93歳) 後藤美枝子さん(88歳)
外山よし子さん(79歳)
2 日 節分
5 日 連絡会議
8 日 口腔ケア研修(二見於農橋市保健所)
11 日 職員代表者プロジェクト第8回キヤリアバ
ス研修(於麗樂莊)
14 日 第3回農橋介護保険関係事業者等連絡会
(柳原・伊藤於農橋市公会堂)

平成30年2月

- 19 日 第3回農橋介護保険関係事業者等連絡会
(柳原・伊藤於農橋市公会堂)

平成30年2月

- 22 日 第3回農橋介護保険関係事業者等連絡会
(柳原・伊藤於農橋市公会堂)

平成30年2月

- 25 日 莊内研修茶々俱楽部(23日)

平成30年2月

- 28 日 豆まき会
1 月 花見(おたまじやくしの会)

平成30年2月

- 2 月 豆まき会
19 日 職員代表者プロジェクト第8回キヤリアバ
ス研修(於麗樂莊)
吉川太鼓(鼓流)

平成30年2月

- 14 日 経営陣プロジェクト第9回キヤリアバス研
修(於 BVH)
17 日 音楽療法(音楽会)

平成30年2月

- 19 日 音楽療法(音楽会)
22 日 理事会(於 TSK)
25 日 音楽療法(音楽会)

平成30年2月

- 28 日 音楽療法(音楽会)

平成30年2月

- 1 月 誕生日者
齊藤 とよさん(92歳) 村田ちやうさん(88歳)
白井 武次さん(84歳) 伊藤 きみさん(94歳)
木川 幸子さん(89歳) 今泉かや子さん(89歳)

平成30年2月

- 2 月 豆まき会
5 日 施設長管理者研修会(小島莊長於愛知
県社会福祉会館)

平成30年2月

- 8 日 鈿供養

斯 樂 莊 日 誌

平成30年1月

- 1 日 初詣(～3日)

平成30年2月

- 1 月 誕生日者
片山 季子さん(84歳) 加藤 利男さん(94歳)
藤田美恵子さん(93歳)

平成30年2月

- 24 日 職種別會議(社会福祉士)(菅沼於農橋市
役所)

平成30年2月

- 25 日 施設内研修茶々俱楽部(講師 林先生・菅沼
先生)

平成30年2月

- 26 日 音楽療法(ヘボの会)

平成30年2月

- 27 日 生け花(3F)(講師 佐藤先生)

平成30年2月

- 28 日 音楽療法(ヘボの会)

平成30年2月

- 29 日 餅つき会

平成30年2月

- 30 日 全体ミーティング

平成30年2月

- 31 日 絵手紙教室(講師 佐藤先生)

平成30年2月

- 32 日 餅つき会

平成30年2月

- 33 日 餅つき会

平成30年2月

- 34 日 餅つき会

平成30年2月

- 35 日 餅つき会

平成30年1月

- 1 日 お屠蘇会
4 日 年頭調査(於 TSK)
7 日 七草粥
9 日 納食会
11 日 錢開き(お汁粉会)

平成30年1月

- 13 日 入所判定会議

平成30年1月

- 15 日 新城市介護認定審査会(夏目香副主任於
新城市役所)

平成30年1月

- 17 日 施設長管理者研修会(小島莊長於アイリ
ス愛知)

平成30年1月

- 19 日 鈿供養(夏目音樂教室)

平成30年1月

- 21 日 ベルヴューハイツ日誌

DSC吉かわ日誌

平成30年1月

- 1 日 お屠蘇会
4 日 年頭調査(於 TSK)
7 日 七草粥
9 日 納食会
11 日 錢開き(お汁粉会)

平成30年1月

- 13 日 入所判定会議

平成30年1月

- 15 日 新城市介護認定審査会(夏目香副主任於
新城市役所)

平成30年1月

- 17 日 施設長管理者研修会(小島莊長於アイリ
ス愛知)

平成30年1月

- 19 日 鈿供養(夏目音樂教室)

平成30年1月

- 21 日 鈿供養(夏目音樂教室)

平成30年1月

- 23 日 鈿供養(夏目音樂教室)

平成30年1月

- 25 日 鈿供養(夏目音樂教室)

平成30年1月

- 27 日 鈿供養(夏目音樂教室)

平成30年1月

- 29 日 鈿供養(夏目音樂教室)

平成30年1月

- 31 日 鈿供養(夏目音樂教室)

麗 樂 莊 日 誌

平成30年1月

- 1 日 お屠蘇会
4 日 年頭調査(於 TSK)
7 日 七草粥
9 日 納食会
11 日 錢開き(お汁粉会)

平成30年1月

- 13 日 入所判定会議

平成30年1月

- 15 日 新城市介護認定審査会(夏目香副主任於
新城市役所)

平成30年1月

- 17 日 施設長管理者研修会(小島莊長於アイリ
ス愛知)

平成30年1月

- 19 日 鈿供養(夏目音樂教室)

平成30年1月

- 21 日 鈿供養(夏目音樂教室)

平成30年1月

- 23 日 鈿供養(夏目音樂教室)

平成30年1月

- 25 日 鈿供養(夏目音樂教室)

平成30年1月

- 27 日 鈿供養(夏目音樂教室)

平成30年1月

- 29 日 鈿供養(夏目音樂教室)

平成30年1月

- 31 日 鈿供養(夏目音樂教室)

音楽療法(あなたにもアロハを)
認知症サポート講座(堀内主任・菅沼・
山崎於農橋市看護専門学校)

生け花3F(講師 佐藤先生)

誕生日会

施設内研修茶々俱楽部(講師 林先生・菅沼
先生)

音楽療法(あなたにもアロハを)

職種別會議(堀内主任於あいビア)

研修(於麗樂莊)

修於作樂莊)

ディケニア新年会(鍋料理)

ケアマネ研修会(堀内主任於 BVH)

入所者新年会(鍋料理)

ピアノ演奏風の会)

ピアノ演奏風の会)

職種別會議(堀内主任於あいビア)

ス研修(於麗樂莊)

ス研修(於麗樂莊)

音楽療法(おたまじやくしの会)

温泉フェスタ(～27日)

温泉フェスタ(～27日)

音楽療法(おたまじやくしの会)

音楽療法(あなたにもアロハを)

認知症サポート講座(堀内主任・菅沼・
山崎於農橋市看護専門学校)

生け花3F(講師 佐藤先生)

誕生日会

施設内研修茶々俱楽部(講師 林先生・菅沼
先生)

音楽療法(あなたにもアロハを)

認知症サポート講座(堀内主任・菅沼・
山崎於農橋市看護専門学校)

生け花3F(講師 佐藤先生)

誕生日会

施設内研修茶々俱楽部(講師 林先生・菅沼
先生)

音楽療法(あなたにもアロハを)